令和８年７月せとまちトーク

（市民と議会の意見交換会）

厚生文教委員会

①テーマ

№２　未来の図書館について

～にぎわいの中心となる図書館を一緒に考えよう～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

・時間　いつやるのか？
・開館時間を長くしてほしい
・開館時間は 8 時-20 時
休館日は年末年始のみ

・何と組み合わせるか
（図書単体ではダメ）
・アクセスが良くない
・広い駐車場

・集いやすい立地
条件の整備
・場所の問題
・スペースの問題

・利用者が固定化しやすい
・ターゲット設定が難しい

・学習スペースが充実すると良い
・勉強したい子に
個のブースがある

・フリースペースが
少ない
・遊び心がない
・多様な世代が交流できる
スペースを
・休けいスペースの充実

・学べる遊べる食べられるくつろげる
・子供用スペースの充実
・部屋の差別化
・蔵庫コーナーに読書できる
スペースを作ってほしい
・デイキャンプができるフリースペース
・カフェの併設

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
・先進事例の紹介 ・市民の声をきくアンケート ・新瀬戸・尾張瀬戸駅すぐの商業施設と一体化する ・パルティせとと一体化する ・市民にあれこれ考えさせ、できないとならないよう	・主体は“市民”である ・交通の便が良く広い駐車場と図書館だけでない複合的施設	

④まとめ

令和８年７月せとまちトーク

（市民と議会の意見交換会）

厚生文教委員会

①テーマ

№２　未来の図書館について

～にぎわいの中心となる図書館を一緒に考えよう～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

① 交流面　市民参加のコンサートがない。駐車場が狭いし斜め。

② ハード面　暗い。古い。長時間ゆったりできない。子供のスペースが狭い。学生のスペースが少ない。蔵書数少ない。図書館の場所が悪く、人が集まりにくい。

③ 他の施設との連携面　複合的機能がなく、ついでに行くという利便性が皆無。

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
司書の仕事を見直すこと。 司書の待遇や採用のレベルアップ。 図書館についての市民ワークショップの開催。 駅近、飲食店、コンビニ、カフェを併設する。 図書館を複合施設化し市民の交流の拠点とする。	利用、活用のマナーを学ぶ。 市民が自分たちで図書館の運営を考えることに参加する。 市民主催のイベントや講演会を定期的に開催する。	民間活用を導入する。 市議会にある図書室資料の一般開放。 他の行政施策との協力で、イベントなどを図書館で行う。

④まとめ

現在の図書館の印象として、「狭い」「古くて暗い」「立地が悪く、集まりにくい、何かのついでに気軽に立ち寄れない」「蔵書が少ない」「子供、学生の使えるスペースが少ない」といった、かなり図書館機能としては根本的なところのマイナスイメージが先行していると理解せざるを得ない。

これらの解決には、「駅近など行き易い場所を考える」「飲食、コンビニなど複合施設とする」「イベント、講演会などが開催できる多機能性を持たせる」「子供たちが楽しめて、図書館のマナーなども学べる場にする」「図書司書のレベル向上」「子育て支援などを含め、相談コーナーが常にあること」「民間企業との協働も検討すべき」といった積極的な意見でまとめることができる。

特筆すべきは、「市民も自分たちで考え、参加して新しいこれからの図書館を考える」という意見が出されたことである。この意見は未来の図書館を考える上で、注視すべきだと思われる。

令和８年７月せとまちトーク

（市民と議会の意見交換会）

厚生文教委員会

①テーマ

№２　未来の図書館について

～にぎわいの中心となる図書館を一緒に考えよう～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

現在の場所では、駐車場が狭いうえに斜めになっているので平らで広い駐車場がほしい。・車が留めにくい。・坂の上で行きにくい。・坂道で行きにくい、場所を新しく建設してほしい。・景観が良くない。・市民の交流の場となるように。・学生が集まれる場所になってない。・利用者が限られている。飲食ができる、カフェなどが無い。・子どものオープンな遊び場が無い。・学習室を利用しやすくしてほしい。・貸し館、集会室をつくってほしい。・点字図書スペースがあると良い。・書庫を広くし、分類を分かり易く並べてほしい。・デジタル時代に向けた未来図書館へ。

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
平坦な土地、敷地面積を広くとる、駐車場、部屋数を増やす。・例えば駅の近くに建築。・場所を新たに考える。・駅近、駐車スペースを広く平らにとる。・新しい場所に移動させる。	中庭に公園をつくる。・解放ルームで講座やよりどころなど。・子育て世代と学生に向けての利便性を考える。	カフェをつくる。・子どもの交流施設（プレイルーム）。・子ども食堂。・無料学習塾。・カフェ、子ども食堂などとの複合施設。・図書館、人が集う複合施設。・美術館や交流館などと併設。・利用者を増やしていくためにどうしたら良いのかを提案して解決する。

④まとめ

時代の流れに乗れるように環境を整備する。・休憩できる椅子を置く。・車イスでも利用できるエレベーター。・本を探しやすく、工夫した置き方、表示も分かり易くする。・いろいろな世代の人が利用できる空間。